

A ①介護サービス基盤の整備について、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、認知症対応型グループホームや小規模多機能型居宅介護などの地域密着型サービス施設の整備を引き続き図っていきます。

人的基盤の整備については、介護職の魅力発信を行い、介護サービスの安定的な提供ができるよう、職場見学会や就職説明会の実施、また養成研修や介護ロボット、ICT導入支援などにより介護人材の確保と定着支援を図りたいと考えています。

②各教科で知識を高めることだけでなく、幼い頃から本市が持つ豊かな自然や歴史、文化に触れ、郷土愛を育むことは大切と考えております。こういった取り組みを重ねることが、ひいては国を愛するにつながっていくものと考えています。



人口減少社会を見据えて

Q 日本の総人口が減少している中で、本市の人口動向をどう捉え、どのような施策を講じるべきと考えるか。

A ポロによる人口への影響は、今後分析する必要がありましたが、若い世代の転出超過、特に県内他市町への転出については引き留めができると考えており、住宅や公共交通施設の強化、市内での魅力ある買物や余暇を過ごす環境づくり、子育て・教育環境の充実などの対策を講じることが重要であると認識しています。

また、大学などへの進学により転出された方に対しては、卒業後、本市で働いてもらえるように多様な職種の企業誘致や創業支援の強化などが必要であると考えています。

さらに、結婚から出産・妊娠・子育てについて切れ目のない地域社会の中で共に生活をします。

がん治療完結率の目標値は

Q 豊かな東近江市の創生について、蒲生医療センターのがんセンター整備による東近江医療圏域のがん治療完結率の改善および他の疾病の完結率は。

④高等専門学校の誘致について



黒丸PAと周辺の工業団地

A の考えは、①昨年の法定協議会で近江鉄道の全線存続が決定し、令和6年度から新たな運行形態である上下分離方式に移行することになります。さらに利用促進を図るために聖徳太子薨去する考えは。

②(仮称)黒丸スマート－C周辺の土地利用のビジョンは。

③蒲生医療センターのがんセンター整備による東近江医療圏域のがん治療完結率の改善および他の疾病の完結率は。

1400年のイベントに併せて、「近江鉄道乗車キャンペー」などを実施し、本市の商業や観光の振興が図れるよう検討をしているところです。

②スマート－Cを設置することによる利便性を生かす開発ができるとと考えます。設置による恩恵は、その周辺だけでなく市域全体に及びものと考えておらず、交通の分散による渋滞緩和の効果も期待できることから、スマート－Cを積極的にPRし、市内全域での企業誘致や定住移住施策を進めています。

③蒲生医療センターに建設中のがん診療棟については、8月から一部診療を開始し、本格的な稼働は10月からとなります。この施設整備の目的の一つとして、東近江医療圏域のがん治療の完結率向上があります。現在、急性心筋梗塞、脳卒中、成人肺



まもなく完成するがん診療棟

炎、大腿骨頸部骨折については、県内の他圏域に比べ同等があることはより優れた設備、人的配置がきており、完結率が85%を超えていますが、がんの完結率は56%と極端に低い状況です。がん治療の完結率も85%を目標としています。

④高等専門学校が本市で開設されれば、地域の雇用対策や地方創生に大きくつながることから、市内企業の支援もいたたきながら、本市への誘致に向けて努力していきます。

東近江市の人口推移

総人口	前年比	日本人	前年比	外国人	前年比	
2008.2	118,961	-481	114,627	152	4,334	329
2009.2	118,635	-326	114,409	-208	4,226	-118
2010.2	117,624	-1,001	114,195	-404	3,429	-597
2011.2	117,441	-213	114,259	34	3,182	-247
2012.2	117,206	-235	114,198	-61	3,008	-174
2013.2	116,855	-351	114,107	-91	2,748	-260
2014.2	116,012	-843	113,426	-861	2,586	-162
2015.2	115,582	-430	113,011	-415	2,571	-15
2016.2	115,270	-312	112,653	-358	2,617	46
2017.2	115,152	-118	112,424	-229	2,728	111
2018.2	114,608	-444	111,719	-605	2,889	161
2019.2	114,264	-344	111,004	-415	3,260	71
2020.2	114,266	2	110,429	-575	3,837	577
2021.2	113,619	-647	109,638	-791	3,981	144

効果的な情報収集を

に、まちの情報や魅力などを伝えることができるよう情報伝達などに工夫しながら、第二のふるさととして愛着を感じ定着していくだけのよう努めています。

Q スマートフォンやタブレット端末、PCなどで情報を入手する手段が主流になっていくなかで、いかに情報を発信していくのか、また、求められている情報が何かをリサーチすることは大変重要である。本市の情報発信・収集の今後について、市长の思いは。

A 本市の発展のために大変重要な施策であることから、さまざまな媒体手法を複合的に活用し、アナログとデジタルそれぞれの良いところをうまく活用しながら、引き続き効果的な情報発信と的確な情報収集に努めています。

祖国を離れ、縁あって本市で生活している外国人の皆さん

07 議会だより